

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

フィールドシンポジウム

「芦生天然林の再生を如何に進めるか」

Volume 39

Number 2

December 2017



関西自然保護機構

Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

ヒナチドリ *Ponerorchis chidori* (Makino) Ohwi

文・写真 前迫 ゆり

30 数年前にはじめて訪れた芦生の温帯林はとても豊かで、クマ笹とナメコと溪畔林が印象的であった。この 10 数年の間にシカの採食の影響を受けて森林は大きく変容した。溪畔林に設置された実験シカ柵（植生保護柵）内に、ヒナチドリ（ラン科）が開花していた。研究者の地道な努力が報われた気がした瞬間だった（本誌参照）。

（2017 年 7 月 16 日撮影）

関西自然保護機構（KONC : Kansai Organization for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人々を幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978 年に創立されました。

KONC はその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。